

令和2年5月27日

保護者のみなさま

広島大学附属福山中・高等学校  
校長 清水 欽也

### 学校再開にあたっての『学校の新しい生活様式』に対するご協力をお願い

新型コロナウイルス感染症の予防のため、保護者のみなさまには、平素から下記の点にご注意いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

#### 1 感染源とならないための「健康管理」

- ・毎日の体温測定など、適切な健康管理を行ってください。体温は、毎日登校前に測定し、家庭で記録を残してください。
- ・登校前に健康観察を行ってください。発熱、咳等の風邪症状がある場合は、自宅等で静養させてください。この場合、電話により欠席の連絡をいただくとともに、「自宅静養届」を後日担任にご提出ください。原則、欠席ではなく出席停止（出席を要さない日数としてカウント）の扱いになります。
- ・登校時あるいは登校後に発熱等の風邪の症状が見られた場合には、保護者の方に連絡し、当該生徒を帰宅させます。症状がなくなるまでは自宅で休養してください。
- ・次の症状がある場合は、最寄りの「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。
  - ☆ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
  - ☆ 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合  
（※）糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
  - ☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合  
（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

#### 2 感染経路を絶つための「咳エチケット・手洗いの励行」

- ・学校への登校の際はマスクを着用してください。ウイルスは、咳やくしゃみの飛沫により感染します。咳やくしゃみをすると、飛沫が2mほど飛びます。「咳エチケット」は、ウイルスを他人に感染させないために、個人が咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。
- ・環境中にばらまかれたウイルスは、しばらくの間、生きています。ウイルスは、のどや消化器官の粘膜、目の粘膜、鼻の粘膜等から感染します。これらの粘膜にウイルスの付着した手で触らないことが「自分の体の中に病原体を持ち込まない」ことにつながります。そのために、「手洗い」を行います。
- 咳エチケット・手洗いの励行については学校でも指導しますが、ご家庭でも上記の内容を生徒とご確認いただき、励行させてください。

#### 3 抵抗力を高めるための「十分な栄養、睡眠の確保」

- ・免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけてください。

なお、当校の「教育活動の再開にともなう新型コロナウイルス感染症対策の方針」をホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。